

2025年4月1日
auじぶん銀行株式会社

預金利息で行う社会貢献 「利息寄付プログラム（環境保全／教育支援）」を提供開始 ～寄付先として「WWF ジャパン」「カタリバ」のいずれかを選択して預け入れ～

auじぶん銀行株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長:田中 健二、以下 auじぶん銀行）は、2025年4月1日から、お客さまの円定期預金利息の一部を社会貢献団体に寄付できる「利息寄付プログラム（環境保全／教育支援）」（以下、本プログラム）の提供を開始します。



本プログラムでは、お客さまからエントリーいただいたうえ、対象の1年もの円定期預金への預け入れ^(注1)をすることで、初回の預け入れ満期日を迎えた預金の税引後利息の39%（サンキュー）相当額（1円未満切り捨て）^(注2)を環境保全団体または教育支援団体に寄付することができます。

寄付先^(注3)は、環境保全団体「公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）」と、教育支援団体「認定NPO 法人カタリバ」の2団体があります。円定期預金を預け入れいただく際に、いずれかの寄付先をお選びいただけます。

（注1）エントリー画面にて寄付金の振込にかかる規約「自動振込（解約）依頼（利息寄付プログラム用）」に事前に同意いただくことが必要です。

（注2）初回預け入れの満期日の翌月の最終金融機関平日営業日に、税引後利息の39%相当額（1円未満切り捨て）を寄付金としてお客さまの円普通預金口座から引き落とします。寄付金については、auじぶん銀行がとりまとめのうえ寄付します。なお領収書は発行しません。

（注3）寄付先は今後追加・変更となる可能性があります。

令和4年に内閣府が実施した「[市民の社会貢献に関する実態調査](#)」において、「寄付を行いたいが十分な情報がない18.2%」「寄付の手続きがわかりにくい12.9%」ことが、寄付の妨げとなった理由として挙げられています。

auじぶん銀行は、「金融商品を通じて社会へ貢献する」分かりやすい仕組みと機会を提供することで、お客さまの社会貢献意欲の実現に結び付けることを目指します。

本プログラムは、「サステナビリティ経営方針」のもと、auじぶん銀行が提供する特定の商品やサービスの利用が社会貢献活動に繋がる「サステナビリティプロジェクト」の一環として実施するものです。本プログラムを通じて、マテリアリティに掲げる「ファイナンシャル・インクルージョンの推進」「地球環境保全への貢献」の推進を図ります。

※各寄付先へは「じぶん銀行決済」または銀行振込によるご寄付も可能です。詳細は下記 au じぶん銀行ウェブサイトのお知らせをご参照ください。

<https://www.jibunbank.co.jp/service/settlement/contribution/>

※「サステナビリティプロジェクト」の詳細は、下記 au じぶん銀行のウェブサイトをご参照ください。

https://www.jibunbank.co.jp/landing/sustainability_project/

<寄付先について>

■公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)

100 カ国以上で活動している環境保全団体で、1961 年に設立されました。人と自然が調和して生きられる未来を目指して、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止などの活動を行なっています。



■認定 NPO 法人 カタリバ

どんな環境に生まれ育っても、日本のすべての子どもたちが未来を切り拓くことができるように。そんな社会を目指して、子どもたちに安心できる居場所や食事、多様な学びの機会を届けるため 2001 年から活動を行い、2023 年度は 15 万人以上の子どもたちへの支援を実現しました。



au じぶん銀行は、au フィナンシャルグループの一員として、「デジタルを駆使する。お客さま視点で考える。そして、期待を超える金融へ。」をパーパスに掲げ、スマートフォンアプリをメインチャネルとして預金、送金、ローン、決済などの各種金融サービスを提供しています。今後もすべてのステークホルダーの持続的発展を目指すとともに、お客さまの期待を超える新しい体験価値を創造することで、「未来まで明るく。」する銀行へとさらなる発展を遂げてまいります。

以上